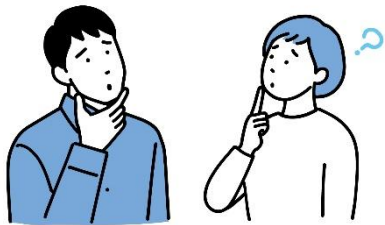


2026年 JAC外国人共生講座 異文化理解セミナー 1

インドネシアとイスラム教 Q&A集

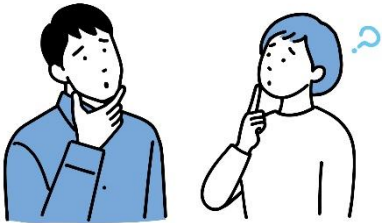
〒541-0046
大阪府大阪市中央区平野町四丁目2番3号
オービック御堂筋ビル9F
crossborder.brexa.com



就労中のインドネシア人が巻き込まれやすいトラブルはありますか？

近年では、オンラインカジノに関するトラブルが増加傾向にあります。誰でも容易に利用できてしまい、違法であるという認識が薄いことが要因の一つです。対策としては、情報提供と継続的な教育が重要です。送り出し機関における教育内容を重視し、日本語教育と生活上の注意事項の両方がバランスよく指導されているかをご確認ください。また、入社後は監理団体や登録支援機関と連携して最新情報を収集するとともに、定期的に生活指導を実施することが重要です。情報提供や注意喚起に加え、「会社に関心を持って見守っている」という姿勢を示すことも、効果的な取り組みといえます。

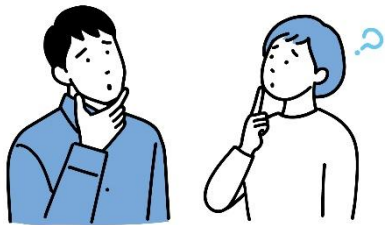




**インドネシア人やイスラム教の方に対して、
生活面で注意しておくポイントがありますか。**

- 五行（信仰上大切な行い）の一つである喜捨については、本人の経済力の範囲で行うよう伝えるとともに、緊急事態（家族や本人の急病など）に備え、日本でも貯蓄を行うようアドバイスしています。
- イスラム教徒だからお酒を飲まない、男女交際に保守的である、といった思い込みを持たず、リスクに対する注意喚起は他国の方と同様に実施しています。
- SNSが広く利用されているため、SNSを起点とした犯罪への注意喚起も行っています（家族や本人を狙った詐欺被害、違法ショップからの食品購入、出会い系サイトの利用など）。



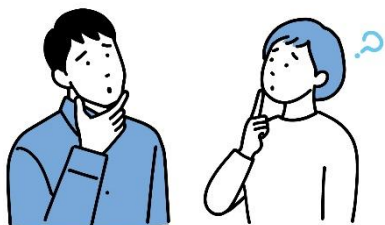


断食の目的はなんですか？いつやりますか？

断食月以外にも断食をする人がいるのはなぜですか？

断食は、信仰心を高め、心を清めることを目的として、イスラム暦（1年は354日または355日）に基づき、年に1回行われます。断食を行うことで自制心を養うとともに、貧しい人々への思いやりの心を育み、喜捨（ザカート）を行うきっかけにもなります。断食月に体調不良などの理由で断食ができなかった場合は、日程をずらして行うことがあります。また、週末のみ断食を行ったり、仕事に慣れた就労2年目から始めたりするなど、各自が無理のない範囲で調整しながら実施しています。さらに、インドネシアでは健康維持を目的として、毎週月曜日と木曜日に断食を取り入れる方もいます。

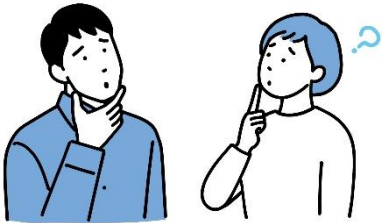




うっかり豚肉やアルコールを口にしてしまった場合は
どうなりますか？

意図的でなければ問題ありませんが、罪悪感を覚えることがあります。
ゼラチンやみりんを含む食品も避けるべきとされているため、
成分表示を確認しながら買い物をする方もいます。
一方で、感じ方には個人差があり、あまり気にしない方もいます。





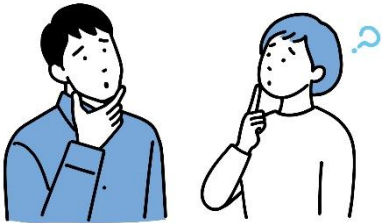
**インドネシアの夏と日本の夏、どちらの方が暑いのでしょうか。
熱中症予防の観点から気になっています。**

一般的には、日本のほうが暑いと感じる方が多い印象です。インドネシアは比較的湿度が低く風もあり、日陰や夜間は過ごしやすいため、エアコンがなくても生活できる場合があります。一方、日本は湿度が高く、窓を開けても熱風が入り込み、夜間も気温が下がりにくいのが特徴です。そのため、宿舎にエアコンを増設したケースもあります。また、インドネシアでは熱中症になる人が比較的少ないため、「自分は大丈夫」と過信してしまう可能性もあります。日本の気候は大きく異なることを踏まえ、夏季の体調管理についてはKY教育などに取り入れていただくと効果的です。



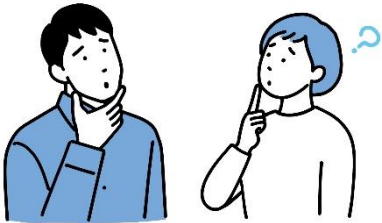
質問（6）

インドネシアの方は来日しても男女ともに香水をつけている方が多い印象ですが、なぜ香水をつけるのでしょうか。香水の匂いが苦手な従業員がいるので困っています。



- ① 異文化理解の視点：インドネシアでは、香水は相手を不快にさせないためのエチケットの一つとされています。そのため、香水をつけないことに不安を感じる方もいます。匂いが苦手な体調不良になる方がいるなど、日本の感覚を丁寧に説明することが重要です。※入社時のオリエンテーションでの案内がおすすめです。
- ② やさしい日本語の視点：「ほどほどに」「適度に」といった曖昧な表現は避け、「1プッシュ」など具体的に伝えてください。適量の場合は「このくらいがちょうどよいです」と示すと、より理解しやすくなります。





インドネシアはシャイな方が多いと聞きましたが、宗教観も含めて、異性との関わり方にはどのような特徴がありますか。

インドネシアでは、家族以外の異性との会話や協働は一般的で、学校も共学であり、日常生活の中で異性との関わりが特別に制限されることは基本的にありません。一方で、宗教観や家庭環境によっては、異性との接し方に配慮を重視する方もいます。例えば、過度な身体接触を避けたり、握手を控えたりすることがありますが、その程度には個人差があります。また、若い方の中には日本と同様にシャイな方もいますが、話しかけることで自然に会話が弾むことが多い印象です。地域や親族とのつながりの中で育つため、幅広い年代と円滑にコミュニケーションを取れる方も少なくありません。



BREXA
CROSS BORDER